

●**新商品**

●**新技術**

●**ウォッチ**

路面の舗装状態を

走行しながら計測

大日コンサルタントが

「IRI測定車」開発

大日コンサルタントで走行しながらの調査が

(岐阜市藪田南3ノ1) 可能なため交通規制が不要。また、収集したデータは、道路を走行しながらデータをパソコンで一括処理する。従来は調査と比較して大幅な低コスト化が実現できるという。

定車」**写真**を開発した。通常速度(最高時速80キ)

高解像度画像を自動撮影 低コストで維持管理提案

度(最高時速80キ)

これまで、国内における道路舗装の維持管理にはMCI(維持管理指数)が指標として用いられてきたが、調査のためには多額の費用が必要だった。そこで

これまで、国内における道路舗装の維持管理にはMCI(維持管理指数)が指標として用いられてきたが、調査のためには多額の費用が必要だった。そこで同社は道路の平坦性や自動車の乗り心地を表す指標とし

て海外で広く用いられているIRI(国際ラフネス指数)に着目。低コストで高精度な調査方法と効果的な舗装維持管理計画の策定手法について大学や研究機関と共同研究を進め、開発に至った。

特長は①普通乗用車がベースで、搭載する計測装置のデータ精度は走行速度に依存しないことからあらゆる道路の調査が可能②IRI計測装置と連動した高解像度デジタルカメラを搭載し10分間隔で道路の写真

を撮影・記録③効果的な維持管理計画の策定を提案できる

など。

同社は今後、国内の道路管理者(国、都道府県、市町村)向けに、IRI調査と効果的な維持管理計画の提案を積極的に展開していく方針だ。

問い合わせ先は、コンサルタント事業部高木智副事業部長、電話058(271)2510(直通)。

